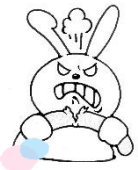


マイナンバー制度反対連絡会ニュース No. 5



連絡先・全労連 TEL03-5842-5611 fax03-5842-5620

2023年4月19日発行

国民皆保険制度の根幹を揺るがす、保険証廃止 やめて

保険証廃止法案の撤回を！！

4月18日（火）特別委員会傍聴第一日目には座り込みに50名が参加し昼休み集會に80人が参加しました、4月19日

（水）集會第二回目の昼休み集會には100名の参加で保険証廃止法案の撤回でコール！！

4月25日（火）にも衆院委員会採決ねらう！

4月20日（木）12時～13時昼休み集

会とTwitterデモ

マイナンバー制度反対連絡会は、4月18日、国会議員会館前での国会前座り込み行動に皆様のご協力のお陰で委員会傍聴8名（新婦人の会、全国生活と健康を守る会連合会、全国保険医団体連合会、全商連、自治労連、日本高齢期運動連絡会東京実行委員会）、座り込みに50名が参加し昼休み集會に80名が結集しました。連日になりますが4月19日（水）も国会前昼休み集會を開催し、Twitterデモも並行して行い社会的な世論を巻き起こします。ご協力をお願いします。

緊急集會の行動提起（マイナンバー反対連絡会事務局長の原事務局長）

「秋から40万筆を超える署名が集まった。マイナンバーカード保険証は国民皆保険制度を破壊されるもの。全国保険医団体連絡会が先頭に立ってリードしている。明日も委員会審議が予定されている。昼休みも同じ場所で緊急集會を行う。東ね法案が数日のうちに数の暴力で強行されていくことは絶対に許されていないものではない。」と行動提起しました。



一緒に連帯して運動にとりかかりましょう（日本高齢期運動連絡会畑中久明事務局長）

「国民皆保険制度は国民が長生きできる素晴らしい制度でなくすのなんてとんでもない。あめとむちで、あめはマイナポイントで、むちは申請をしなければ無保険になります。一緒に連帯して運動にとりかかりましょう」と声かけました。

医療現場の実態がわからない政府（全国保険医団体連合会の曾根貴子事務局主査）

「医師・歯科医師で1000人を超える訴訟団が組まれている。私が事務局に入局してきて、社会保険は改悪されつづけています。実際、医療現場では、マイナンバーカード保険証を持ってくる人はいません。受診時、顔認証ができず、暗証番号もわからないとなると現場は混乱になっている。」と問題を指摘しました。

60年以上の国民皆保険制度を崩すな！（中央社会保障推進協議会の林信悟事務局長）

「私自身も医療機関で働いておりました。保険証の不正利用を見たことがありません。今回の保険証廃止法案は60年以上の国民皆保険制度を崩すものです。発行の義務から申請主義に変えることによって、国民皆保険制度を崩すこととなります。アンケート調査によれば、マイナンバーカード保険証になってしまえば、94%の介護施設は管理できないと回答しています。介護施設では、ケアマネージャーの人がマイナンバー申請をやらされています。私たち中央社保協は、明日もこの緊急国会前集会、10時から12時までにご参加いただきたいと思っています。」と発言しました。

ケガと弁当は手前持ちの再来だから労働者が自主国保をつくった（東京土建一般労働組合の木村潮人書記次長）

「ケガと弁当は手前持ちという言葉があります。保険証廃止はその言葉の再来ではないか。自分で資格確認を申請しなければならないことになる。本当に悪政ばかりやっている国のありかたは変えなければならないと思っています。なぜマイナンバーカードと保険証を一緒にするのかといえば、雨宮処凛さんはマイナンバーカード保険証について、国民の健康と所得の情報を集めれば将来的に戦争に送ることができる、それが目的ではないかと言っていました。マイナンバーと保険証の一体化を止めたい」と力強く発言しました。

マイナンバーカードの申請義務化はおかしいと問題提起（日本共産党宮本徹衆議院議員）

「マイナンバーカード保険証一体化について、厚生労働委員会で連合審査をすべきだが、与党が応じないのです。国民にとっては皆保険制度を離してはならない。様々な状態で申請できない人がいて申請主義によって手元に保険証がない人が山のように増え、医療機関に関われない人が増える重要問題です。この間、保団連の皆さんが調査なされまして、マイナンバーカード保険証を介護施設、医療施設などで9割の人が管理できないと回答したようです。介護施設などで施設の職員が代わりに申請するのは困難だということです。厚生労働大臣からは「各団体のみなさんと協議しながら検討したい」との回答しかありません。保険証を廃止しなければならない理由はどきにあるのかということです。みなさん共に頑張っていこう」と声かけました。

新婦人からのお二人は「大臣の答弁でなにがどう大丈夫というのか根拠がわかりません。マイナカードで手続きが早くなるとは思わないし、おくすり手帳が現在も活用されていてそれで充分です。私たちの母から保険証を奪い取る法案です。自分で意思を明確にできない人へのマイナンバー申請義務化はおかしいです。そして個人情報満載の危険なカードを持ち歩くということがおかしいです。絶対に廃案にしましょう」と参加者を激励しました。

困った人、大変な人に対する配慮が感じられない答弁（全国生活と健康を守る会の西野さん）

は「国会傍聴で生活弱者に対する申請ができない人に対する対応について聞くことができませんでした。乳幼児・新生児がマイナンバーカードを取得した際に管理をどうするのか、サイバー攻撃を受けた際はどうするのかなどの野党からの質問への回答があいまいです。困った人、大変な人に対する配慮も聞けなかった」と傍聴の感想を述べました。

AI を使って国民を監視か（東京高齢期運動連絡会の菅谷さん）

「国会傍聴において、マイナンバーカードの便利さを強調している大臣答弁でした。マイナ保険証ができて病院の待ち時間は減るのだろうか。マイナカード、保険証を預かり切れないです。実はマイナカードを大きく広げて、その先の狙いがある。それは顔認証と AI を使って国民を監視することです」と問題点を指摘しました。

河野大臣「マイナンバーカードは安全だ」と繰り返すだけ（全国商工団体連合会の聖生さん）

「河野太郎大臣は中国のようにプロファイリングしていくことに対して否定はしていませんでした。マイナンバーカードは安全であり、安心ですという答弁をしていました。それはとても現場の様子・実態が見えていない答弁だったと思います。現場の人員削減を進めていきたいという内容にもなっている。現場の実情をみないで取り組んでいると思います。私たちの取り組みで争点を取り出さないとだめです。」と主張しました。



マイナンバーカードと保険証の一体化をやめさせるには政権交代しかない（立憲民主党吉田統彦衆議院議員）

「中国資本にクリニックが買収されたらどうしていくのか？の質問に対し、政府は何もしないと回答しました。マイナンバーカードは強制とは言わないが、実質強制されます。マイナンバーカード保険証をやめさせるには政権交代しかありません。今度の解散総選挙で民意を問います」と意気込みを述べました。

みなさん政治を変えなければならないという声をあげていきましょう（全国労働組合総連合の秋山正臣副議長）

「個人情報漏洩するようなマイナンバーカードはやめるべきです。東ね法案や基本法案が一つの委員会ですべて審議されるようになってまいりました。立法事実がないのに、国民をコントロールする意図があります。みなさん、政治を変えなければならないという声をあげていきましょう」と主張しました。

署名の積み上げと集会を成功させよう（中央社会保障推進協議会の林事務局長）

最後の呼びかけで、「明日 9 時から審議がはじまります。国会質問をみなさんで見ましょう。13 時から視聴しましょう。明日 4 月 19 日からも集会があります。来ることが可能な方はぜひご参集お願

いしたいと思います。また、署名の積み上げをしたいと思ひますし、5.18の院内集会の呼びかけをしていきたいと思ひております。最後に私たちはあきらめずにと組もうということで締めくくりの言葉とさせていただきます」と今後の日程と呼びかけをしました。